



東っ子だより

学校スローガン『挑む!』

大村市立東大村小学校
R7年度学校だより第6号
文責：校長 小川広孝
令和7年10月14日発行

1年の振り返し

朝晩に吹く風にも心地よさを感じる季節となりました。保護者の皆様・地域の皆様におかれましては、日頃から、東大村小学校の教育活動に御理解、御協力をいただき、本当にありがとうございます。早いもので、今年度の振り返しを迎えています。実りの秋、勉学の秋、食欲の秋などと言われる時期、過ごしやすい時期がやってきました。

さて、2学期が始まって1ヶ月半。まだまだ暑さが残りますが、子供たちは毎日を自分たちらしく伸び伸びと過ごしてくれています。その姿を見るたびに、胸が熱くなる毎日です。

9月～10月前半も様々な学習活動がありました。そのいくつかをご紹介します。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

①の写真は、9月10日から3日間、大村中学校の生徒さんが職場体験活動に来てくれた時のものです。3日間、楽しく過ごすことができました。

②の写真は、避難訓練の時のものです。暑さもあって、体育館に避難しました。命を守るお勉強がしっかりとできました。

③の写真は、9月19日の朝、見守り活動をしていただいた時のものです。民生委員・児童委員の皆様にご来校いただきました。早朝より、ありがとうございました。

④⑤の写真は、10月7日に実施した1・2年生の町探検、3・4年生の社会科見学の様子です。みんなでしっかりと学びながら、楽しい1日を過ごすことができました。

⑥⑦の写真は10月2日・3日、壱岐市立志原小学校の5・6年生と交流した時のものです。みんなで遊んだり学習したり、給食を食べたりしながら絆を深めることができた有意義な2日間でした。

⑧の写真は、10月8日に、3年生～6年生で慈恵荘を訪問した時のものです。入所者や利用者の皆様方の前で、歌やエイサー、ソーラン節を披露することができました。

裏面に続きます！

体験活動の大切さ

表面で紹介させていただいたとおり、2学期もたくさんの体験活動・体験学習を実施しています。

体験活動は、知識を「生きた力」に変える大切な学びであると考えます。自然に触れ、人と関わり、課題に向き合う中で、子どもたちは自分で考え、判断し、行動する力を育みます。

これからの社会を生き抜く子どもたちにとって、体験活動は何よりの教材です。今後も、体験活動・体験学習を通して、子どもたちが自分の力を信じ、輝ける場を大切にしていきたいと思います。

秋祭り 2025 よろしくお願ひしま

東大村秋祭り2025

令和7年10月25日(土) 9:00~15:30 東大村小学校 運動場・体育館

※駐車場は、慈恵荘第2駐車場をお借りしています。

(午前)・吉松眞理子先生講演会・ステージ発表

(午後)・校内相撲体験会(本校児童)・昔遊び体験

(終日)・Rバーガー(ハンバーガー) 鯛人(たい焼き) オヨリス、K(ワッフル、アイス)

・飲料、焼き鳥、お菓子くじ、フライドポテト、唐揚げ、綿菓子

・スーパーボールすくい、ミニ消しゴムすくい

産直野菜の販売やバザーも予定しています。

ぜひ、お越しください。

吉松眞理子先生 講演会！

1 日 時	令和7年10月25日(土) 10:30~11:30
2 場 所	東大村小学校 体育館
3 対 象	全児童&保護者
4 内 容	講師 長崎市子育て支援センターびびよ 吉松 眞理子 先生 演題 『伝え合おう 子どもの気持ち、親の気持ち!』 ～どんな環境の中でも幸せになれる家族になろう!～

<プロフィール>

今回の講演は、前半はグループワークを行い、子どもの気持ち、親の気持ちを伝え合います。後半は吉松先生のお話です。4人のお子さんを育てられた吉松先生。笑いあり、涙あり、心がホッと温かくなる…そんな素敵なお話をお届けします◎ お楽しみに！



いよいよ秋祭り 2025 が来週末に迫ってきました。子どもたちも出し物の練習を頑張っています。みんなが楽しみにしていることが伝わってくる毎日です!(^^)!

保護者の皆様、地域の皆様に、計画から準備など、たくさんご協力いただいていることに感謝を申し上げます。

10月25日(土)、どうぞよろしくお願いいたします。

相手の気持ちを考える

10月6日の1校時に「全校道徳」を実施しました。授業のめあては、「自分の考えを伝える」と「相手の気持ちを考えること」でした。相手の気持ちを考えることは、良い人間関係を築く上でとても大切なことです。だからこそ、どんな人も相手の気持ちを考えます。(当たり前のことですが)しかし、一生懸命に相手の気持ちを考えても、残念ながら全ての気持ちをわかることはできません。なぜなら、どの人も自分とは違う人間だからです。相手の気持ちを汲み取ることは難しいことですが、相手のことを思いながら「その人が喜ぶこと」や「嬉しくなること」を想像することはできます。これからも、子どもたち一人一人が優しい気持ちを忘れずに学校生活を送ってくれることを期待しています。